

マルクス、エンゲルス

2017年追試

問7 次の文章は、マルクスの思想についての説明である。[a]～[c]に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 [35]

マルクスによれば、人間の歴史の基礎を成すのは生産活動である。生産活動が土台となり、そのうえに人間の精神的な活動が成り立つ。土台としての生産活動は、生産関係と[a]とから成り、生産関係は固定化される傾向にあるのに対して、[a]は絶えず増大する傾向にあるため、両者の間で矛盾が生じる。それによって、[b]が激化し、社会変動や社会革命につながる。マルクスは、資本主義の進展によって労働の疎外が甚だしくなる状況において、全世界の労働者が団結して革命を起こし、最終的に[c]の体制へと移行すると主張した。

- ① a 労働力 b 万人の万人に対する闘争 c 社会民主主義
- ② a 労働力 b 万人の万人に対する闘争 c 共産主義
- ③ a 労働力 b 階級闘争 c 社会民主主義
- ④ a 労働力 b 階級闘争 c 共産主義
- ⑤ a 生産力 b 万人の万人に対する闘争 c 社会民主主義
- ⑥ a 生産力 b 万人の万人に対する闘争 c 共産主義
- ⑦ a 生産力 b 階級闘争 c 社会民主主義
- ⑧ a 生産力 b 階級闘争 c 共産主義

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問7	35	⑧	3

2014 年本試

問 6 下線部 f に関連して、マルクスとエンゲルスの思想の説明として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① 資本主義社会においては、土地や工場など生産活動に必要なものをもつ人々と、そこで働くだけの人々との関係が、政治や芸術など人間の精神的な営みを規定すると考えた。
- ② 社会は個人をすべて合わせたものなので、社会の幸福を最も大きくするためには、最も多くの個人ができるだけ幸福になる必要があり、その目的の達成が社会の改革の基準となると考えた。
- ③ 世界は、絶対精神が自ら現実のものとなることによって展開していくのであり、労働者や資本家の意識や、その両者の関係は、絶対精神が客観的に実現されたものであると考えた。
- ④ いかなる状況にあっても人間は相互に助け合わなければならないので、主に資本家の善意に基づき、人間が平等に扱われる理想的な共同体を作り出すことで、幸福な社会が実現すると考えた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	34	①	3

2013 年本試

問 6 資本主義社会に対するマルクスの批判についての記述として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

35

- ① 人間は本来、他人と ^{かか}関わらず独立して生きる存在であるが、資本主義社会では相互依存の関係にあり、人間性が失われた状態にある。
- ② 資本主義社会では、商品の交換関係が支配的となり、人間もまた、物のように取り替えのきく存在として ^{とら}捉えられるようになる。
- ③ 生産手段をもたない労働者は、自分の労働力を売って生活するしかなく、労働の成果も資本家のものとなるなか、労働が苦役になっている。
- ④ 商品の価値は、人間の労働に由来するものであるにもかかわらず、商品や貨幣それ自体が価値をもつものとして、ますます崇拜されるようになる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	35	①	3

2011 年追試

問 4 19 世紀を通じて、資本主義社会の発展とともに、歴史の本質は「進歩」であるとする見方は、様々な思想に影響を与えていった。次のア～エはそれぞれ誰^{だれ}の思想であるか。その組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。 26

ア 集団生活を規制する国家のあり方の変革は、空想的にではなく科学的に構想可能であるが、その国家もいずれは不可避免的に滅ぶ。

イ 社会は生物のような有機体であり、政府が介入しない自由な競争を通じ、適者生存の原理に基づいてよりよい状態へと進化する。

ウ 人間は生来他人を思いやり、社会の幸福のために献身することに喜びを感じるので、最大多数の最大幸福の実現を追求するようになる。

エ 人間社会を支える知識のあり方も進歩するのであり、観察された現象の間に法則を確立するような実証的学問こそ、知識の最高の段階である。

- | | | | | | | | | |
|---|---|----------|---|----------|---|----------|---|----------|
| ① | ア | J. S. ミル | イ | コント | ウ | エンゲルス | エ | スペンサー |
| ② | ア | エンゲルス | イ | J. S. ミル | ウ | コント | エ | スペンサー |
| ③ | ア | コント | イ | J. S. ミル | ウ | スペンサー | エ | エンゲルス |
| ④ | ア | コント | イ | スペンサー | ウ | J. S. ミル | エ | エンゲルス |
| ⑤ | ア | エンゲルス | イ | スペンサー | ウ | J. S. ミル | エ | コント |
| ⑥ | ア | J. S. ミル | イ | エンゲルス | ウ | スペンサー | エ | コント |
| ⑦ | ア | スペンサー | イ | エンゲルス | ウ | コント | エ | J. S. ミル |
| ⑧ | ア | スペンサー | イ | コント | ウ | エンゲルス | エ | J. S. ミル |

問 5 唯物史観の説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

27

- ① 「困い込み運動」により深刻化した富の偏在と人間の限りない物欲を是正

するために、私的所有を廃止して平等社会を実現すべきだ。

- ② 生産手段の所有関係が各時代の政治や文化のあり方を規定しており、社会的矛盾が革命を引き起こし、新たな生産関係を形成する。
- ③ 自己の天職に励んで富を増大させることは正当であり、蓄財を社会に還元して社会を改善しようとする努力が歴史を形成する。
- ④ 社会改良によって私益の追求と社会全体の利益の増進は両立可能だが、まず両者を調和させる道徳と立法の原理を確立すべきだ。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第4問	問4	26	⑤	3
第4問	問5	27	②	2

2008 年追試

問 5 マルクスによれば、働くことは人間の本質的な営みであるが、資本主義体制の下では、働くことの本来のあり方が妨げられるとされる。その理由についてのマルクスの説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

28

- ① 本来、働くことは自由な創造の営みであるが、社会組織の巨大化と複雑化が進むことによって、組織のための作業という意味しかもたなくなってしまう、働くことに意義が見いだせなくなる。
- ② 本来、働くことは個性を追求する営みであるが、市場経済が進展することによって、市場に受け入れられる製品を作る営みに変化してしまい、働くことに意義が見いだせなくなる。
- ③ 本来、働くことは自己実現の営みであるが、労働力の商品化が進展することによって、賃金を手に入れるための強いられた営みとなってしまう、働くことに意義が見いだせなくなる。
- ④ 本来、働くことは大地の呼びかけに耳を傾ける営みであるが、科学技術が進展することによって、自然を支配する営みになってしまい、働くことに意義が見いだせなくなる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	28	③	3

2006 年追試

問 5 その後の社会変化の中，19 世紀に階級対立を論じた思想家にマルクスがいるが，彼の思想の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

26

- ① 本来自由な人間は，自分のあり方を選ぶことで人類全体のあり方を選んでいるので，個々の状況において決断し社会参加することが求められている。
- ② 行為の結果は，個人の幸福よりも社会の幸福にとってどれほど有用かという視点から評価される。
- ③ 労働は自己実現活動であるはずだが，現実の労働者はその労働力が商品化されて搾取され，労働が苦役となっている。
- ④ 革命による根本的な体制変革ではなく，啓蒙や宣伝によって漸進的な改良を進め，社会保障制度の充実などが優先されるべきである。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	26	③	3

2005 年本試

問 6 マルクスの思想をあらわす記述として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。

17

- ① 資本主義的生産様式が支配している社会の富は，膨大な商品の集積としてあらわれ，個々の商品はその富の基本形態としてあらわれる。
- ② 人間の意識が人間の存在を規定するのではなくて，その反対に，人間の社会的存在が人間の意識を規定するのである。
- ③ 世界史とは自由の意識の歩みである。東洋では一人が，ギリシアでは若干の者が自由だったが，ゲルマンではすべての者が自由である。
- ④ プロレタリアには，革命において鉄鎖のほか失うものは何もない。彼らには獲得すべき全世界がある。全世界のプロレタリア，団結せよ！

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	17	③	2

2002 年本試

問 5 19 世紀資本主義社会の労働における人間疎外を指摘した思想家としてマルクスがいる。マルクスの考え方として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① 労働者の生産物が資本家の支配下にあるという資本主義の問題を克服するために、革命による社会主義社会への移行が実現されなければならない。
- ② 数多くの矛盾が存在する資本主義社会において、商業は文明の弱点であり、商業資本家の悪徳と無政府性は強く非難されなければならない。
- ③ 帝国主義の時代においては、議会制度を通じて社会を変革することは困難であり、社会主義社会は武力闘争によって実現されなければならない。
- ④ 議会制度を通じて、生産手段の公有化、富の公平な配分、社会保障制度の拡充を推進し、資本主義社会の弊害を除かなければならない。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	34	①	3

2001 年本試

問 6 マルクスの思想を説明した記述として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

17

- ① 生産手段の少数者の私有ではなく、社会的な所有としなければならない。それによって、人々がその働きに応じて富の配分を受ける社会、さらには能力に応じて働き、必要に応じて富を受け取る社会を目指すべきである。
- ② 人間は道徳的な存在者としての尊厳を有する。そうした人間がお互いに相手を単なる手段としてだけ扱うのではなく、目的としても対等に尊重し合う共同体を実現しなければならない。
- ③ 全員に等しい機会が与えられた公正な競争であっても、社会的格差が生じることはある。もしそうした競争が社会の中で最も恵まれない人々の暮らし向きを改善しないならば、社会的格差は是正されなければならない。
- ④ 市民社会においては、自由で平等な個人がそれぞれに欲望を追求することによって、かえって自由と平等が損なわれている。こうした矛盾は国家という最高の共同体においてはじめて克服される。
- ⑤ 人間の不平等は財産の私有によって生じたものである。したがって、人間同士の自由で平等な関係は、人々の私利私欲を排除した一般意志に各人が自発的に従うことによって、はじめて実現される。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 6	17	①	2